

## 平成27年度重点プロジェクト事業（海外派遣研究員旅費）報告

# 20<sup>th</sup> Annual Congress of the European College of Sport Science (ECSS Malmö 2015)における研究発表

原村 未来\*

### はじめに

今回、平成27年6月24日～27日の日程で、Sweden・Malmöにて開催された20<sup>th</sup> Annual Congress of the European College of Sport Science(第20回ヨーロッパスポーツ科学学会：以下、ECSS)に参加し、これまで行ってきた研究成果の一部を発表する機会を頂いた。本学会は、体力・スポーツ医科学の専門分野の欧州を拠点とする学会である。国際学会へは、昨年度も同学会へ参加しており2回目の参加であるが、今年はミニ・オーラルプレゼンテーションという2分間の口頭発表、2分間質疑応答の口頭発表で参加することにした。学会大会の様子および自身の発表内容についてここに報告する。



学会初日 Opening Ceremony の様子

### ECSS について

1996年に第1回の大会がフランスのニースで開催されて以来、毎年ヨーロッパ各地にて大会が開催されている。参加者は年々増加しており、ECSS2015には2,394名の参加があり、参加の国と地域は70であったと報告されている。大会では、生理学、バイオメカニクス、栄養学、社会学、心

理学、体力医学、教育学などスポーツに関する幅広い分野の研究発表が行われており、各国の研究者との情報交換や最新の研究動向の把握をすることができる。近年は、サテライトの研究会や若年研究者向けワークショップなども多く開催され、研究報告ばかりではなく研究者の教育や育成も積極的に行っている学会である。また、日本の若手の研究者も多く参加している大会であった。

### 研究発表について

本学会大会は、一般発表を含む4つのセッションで進行された。著名な研究者による「Plenary session」、「Oral & Invited presentation」などの講演・シンポジウムや、「Mini-Oral Presentation」、「E-Poster」の一般発表が早朝から行われていた。毎日のPlenary Sessionでは、脳科学、生理学、バイオメカニクス、リハビリテーションというスポーツ科学の基礎となる分野の講演が行われた。学会1日目・2日目は、自身の研究関連の講演やシンポジウム・ワークショップに参加した。

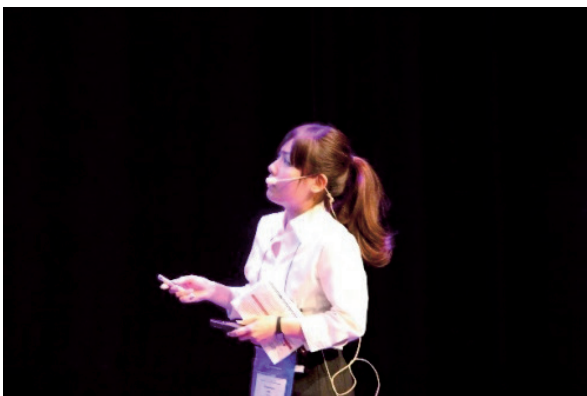


参加した高井講師と研究室の大学院生

\* 鹿屋体育大学 大学院体育学研究科 博士後期課程2年

私は、3日目の発表であり、今回「Metabolic profile of body mass-based squat exercise in healthy young men」というタイトルで、Mini-Oral Presentation（2分間の口頭発表）として発表を行った。若齢男性を対象に自重負荷スクワット運動（自重SQ）を行い、その際の酸素摂取量、心拍数、血中乳酸濃度および下肢筋群の筋活動水準の測定を行い、自重SQ中の筋活動水準および有酸素性代謝特性について明らかにすることを目的とした研究である。自重SQは、高齢者や子どもの筋サイズおよび最大筋力を増加することが知られているが、その代謝特性については不明な点が多い。今回の研究を通して、自身の研究内容の位置づけや研究データの有用性について確認することができ、今後検討すべき課題も確認でき、実りある発表となった。

学会期間中は、口頭発表を通じて、求められる英語力の高さを実感した。心配していた質疑応答では、質問者の英語が速かったり、緊張でうまく聞き取ることが出来ず、日ごろからリスニングや英会話の勉強を行うべきであると強く感じた。また、質疑応答での受け答えが不十分であると、この人は英語で十分に議論することが出来ないと思われ、質問の数も減ってしまうように感じた。以上の点は、今後の課題を見つける上で大変貴重な経験になった。



Mini-Oral Presentation 発表時

## おわりに

今回の国際学会は、口頭発表ということもあり、多くの不安を感じていた。次回、国際学会に行く機会があれば、自分の研究についてもっと多くの研究者の意見を聞き、議論したいと考えているので、引き続き英語の勉強を継続していきたい。

最後になりましたが、今回の国際学会に参加する機会を与えていただいた金久博昭教授、高井洋平講師および共同研究者の皆様、学会に行くにあたり支援してくださった国重徹教授ならびに本学職員の皆様へ感謝申し上げます。